夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢 郵稅 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話二三五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本房
印刷人 谷啓二郎



## 石炭統制を目前に 北票炭坑株買占
### 阪神大財閥當局の眼光る

滿洲の石炭統制機關たる日滿合辦滿洲炭坑會社の創立を目前に控へ阪神地方屈指の某大財閥がその包含炭坑中の『白眉』たる北票炭坑（北票煤礦公司）株式を秘かに[illegible]係者及び平津地方商人から買入れ名儀書換へをなし巨利を博せんとした怪事實が暴露され、關係當局をして愕然たらしめた事件がある、買占巨頭の名は未だ嚴秘に附せられてゐるもその關係者は數日前平津出先官憲の手で檢擧され、目下嚴重取調べを受けつゝある模樣であるが、右計畫の內容は北票煤礦公司株式（資本金五百萬元、二分の一拂込み）所有者が事變當時平津地方に逃走、株式の半以上が現在平津に流入してゐるを奇貨とし滿支人を手先に使ひ株主を訪問せしめ「同株は逆產として近く沒收することになつてゐるから早く手放して了へ」と言葉巧みに說得、不當價格を以つて之を買收し、既に買收株一萬餘株に達したと云はれ一味の計畫は更に來る可き同會社解散株主總會で株價の釣上げ策を講じ、最有利な條件で新會社に株式を賣り付けんと目論んでゐたものである、早くも本計畫を『探知』した日滿當局は、「非常時に際し少くも內外の誤解を招くが如き不正商行爲には斷乎鐵槌を下す」との見解をとり、嚴重取調べの步々進めて居るが事件は意外な方面に擴大する模樣である

## 貨物の着驛配達
### 二十三日から開始 滿鐵沿線主要驛で

〔大連十九日發國通〕滿鐵では列車小荷物の配達は早くより實施してゐるが今回更に貨物の着驛配達をも取り扱ふことゝなり、來る二十三日より大連、新京、奉天等主要三十二驛で實施することゝなつた

## 舊政權の對邦商
### 賣掛代金一部支拂完了

〔奉天十九日發國通〕舊東北政府に對する邦商の賣掛代金は總計約百五十六萬圓餘にして第一回分三割五分は昨年十二月二十八日既に滿洲國側より支拂を了し第二回分總計三十一萬圓もこの程支拂を完了した、即ち邦人に對する債務總額の五割五分は現金を以て支拂ひ殘額の四割五分は將來滿洲國公債を以て支拂ふ豫定である、今回現金を受けた滿鐵、三井、大倉組、大連汽船、本溪湖煤鐵公司等の大商人は今回の現金無くも營業上支障無きを以て將來個人商人に對しては公債を擔保として現金を按分して貸與融通することゝなり此の公平なる手段に各方面から感謝されてゐる

## 勸業公司
### 水田事業好成績

〔奉天十九日發國通〕東亞勸業公司の水田事業は事變以來急速の進展振りを見せて居るが、目下の鮮人大規模の農場と言へば田庄臺、烏吉密の二ケ所であり、而して本年の成績を見るに田庄臺農場は鮮農六百五十戶を收容し、本年は土地整理灌漑設備を爲すのみで收穫は殆んど皆無であるが、而して烏吉密農場には鮮農六百戶を收容し、水田經營をなしてゐるが、現在の作柄は非常に好成績で急速なる氣候の變化無き限り順調に進むものと見られ、平年よりも幾分增收の見込である

## 東京大阪名古屋に
### 會員組織の銀塊取引所設立計畫

〔東京十九日發國通〕山崎龜吉氏は東京、大阪、名古屋に會員組織に依る銀塊取引所設立の計畫を樹て、十九日午前商工省に內伺書を提出した、山崎氏等の調査によると我國の銀塊額は一ケ年五百萬圓、當業者間の取引は五千萬圓で當局では暑中明けの九月より實地調査をする筈である

## 本年上半期の輸入棉花
### 昨年同期より

〔東京十九日發國通〕日本棉花同業會調査本年上半期棉花輸入高二百十八萬三千俵で、昨年同期より二十九萬五千四百俵減少

內譯（單位千俵）

| | |
|---|---|
| 本年上半期 | |
| 印棉 | 九六六 |
| 米棉 | 九六〇 |
| 支那棉 | 一二〇 |
| 昨年上半期 | |
| 印棉 | 四三九 |
| 米棉 | 八〇〇 |
| 支那棉 | 一三九 |

## 大日本ビール ビール鑛泉を合併

〔東京十九日發國通〕大日本ビールでは昨日午前九時本社に理事會を開催しビール鑛泉との合併を承認した

## 獨逸クーロン號艦長等

目下大連に入港中のドイツ巡洋艦クーロン號艦長以下高級士官數名來奉ドイツ總領事キグス氏と共に來京し關東軍司令部を訪問敬意を表することゝなつた

## 自衛移民計畫並に概況（三）

（三）計畫樹立の理由並根據 右計畫は事變以後に於ける政府の移民計畫の嚆矢にして試驗的のものなりと雖、實際に於ては滿洲農業移民の先驅として帝國の大陸政策の第一線に立つものなるが故に、之が成否は帝國國民が民族的に滿洲に進出し得るや否やを決定するの意味に於て其の影響するところ極めて大なるものあり、從て以上の計畫を樹立するに當りては各般の事情を愼重考究したる結果に基くものなること素より言を俟たず、今本計畫樹立の理由並根據として前述せるもの以外の點を擧ぐれば左の如し

一、滿洲移民に關する悲觀論に對してに之に累はされざる左の確信を得たり

（一）寒氣強き滿洲に於ても農業經營は困難にあらず 滿洲は日本內地に比し寒氣甚しきものあるは事實なるも之を世界の他の農業諸國に比較する時は寧ろ低緯度に在り、殊に夏季に於ては氣溫高昇し農作物の生育旺盛なるを以て農耕上支障なきのみならず、二毛作困難なるの不利は單位耕地面積の擴大に依り之を補ふを得べし、又寒氣に困る生活上の不便は家屋の建築並服裝上の適應改良に依り或程度迄は之を除去するを得べし

（二）支那人農民とは其の生活程度に於て特に懸隔なし 日本人は支那人と其の生活程度に於て懸隔あるを以て農民としては對抗し得ざるものと爲すは往々之を耳にするところなるも誤なり、支那苦力と日本農民との生活を比較するは誤にて支那農民と苦力との生活は同一視し難く支那農民と日本農民との生活程度には大差なし、但し日本農民が滿洲に於ても內地に於けると同一生活樣式を營まんとするには多額の生活費を要すべきも移民は須く現地に適する衣食住を營ましむることを要し之が訓練を行ふの要あるべし

（三）農業移民の生產物は內地農產物を壓迫することなきや

滿洲に於ける主なる農產物は大豆、粟、小麥、棉等の如き世界的商品にして內地農產物との交涉大ならず、問題となるべき處あるものは米と繭なるも米は滿洲に於ける水田可耕地五、六十萬町步なりとの調査にして然も開墾完成を見るは遠き將來のことに屬し且滿洲に於ける消費も逐年增加の趨勢に在るを以て之に對して危惧するの要なし況や目下輸入米に對して許可制度を採り且之を許可する際に於ても高率の關稅を課しつゝある現狀に於ておや

又繭は氣候等の關係もあり內地產繭に脅威を與ふるの域に達することは遠き將來に於ても不能事に屬す、而して本問題は移民問題にあらずして寧ろ滿洲農業開發方針の問題なり

## 珠玉を碎く（六十二）

吉井勇
（高根秀浩畫）

夜咲く花（九）

「うん……」

莊太はさう呻くやうに言ひながら點頭いてから、

「お前がさうまでに言ふのなら、僕はもう何にも言はないよ。お前の思ひ通り自由にしたがいゝぢやないか」

その聲はちよつと怒つたやうな調子だつたので、純子はもの怖ぢをしたやうに上目遣ひをして、

「兄さん、あなたお怒りになつたの。えゝ、兄さん。あたし何だか心配だわ」

「いや、怒りやあしないよ。いくら兄だつてお前の自由を束縛することは出來ないからね。それだから僕はもう何にも言はないと言つた譯なのだ」

「それぢやあ兄さんはお怒りにならないのね」

と、莊太は大きく點頭いて、

「あゝ、怒るものか。怒りやしないから安心おし……。しかしね、僕は兄としてお前の身の上に就ては心配はするよ。それだからなるべく僕に心配をさせないやうにさへして呉れゝばそれでいゝ……」

「えゝ、それはあたしだつて兄さんに、心配をおかけするやうな眞似はしないつもりですわ」

「あゝ、どうぞね……」

莊太はさう言つてから急に夜寒を感じたやうに身ぶるひをしながら背を縮めた。

「さあ、こんなところに立つてゐたつて仕方がない。そろ／＼出掛けやうよ」

二人は辨天橋を渡つて清水谷の方へ歩いて行つた。夜はもう深更なので、人通りなどはすつかり途絶えて、木の葉のおのゝく音までが聞えて來る位靜かだつた。何處か遠くの方で、犬の吠える聲が夜の闇を縫つて聞えて來たが、それも間もなく聞えなくなつた。

かうして二人が市ケ谷の家まで歸り着いたのは、もう曉に近いといつてもいゝ位の時刻だつた。

純子は莊太を寢かすと、額にそつと手を觸れて見たが、それは燃えるやうにあつくなつてゐて、すぐに唯ならぬ容態だといふことが感じられた。

「兄さん、お苦しかない……」

うと／＼と目を瞑りかけてゐた莊太は、さう言はれると沈んだやうな眼差で、ぢつと妹の顏を見詰めながら首を振つた。

「ううん、何ともないよ」

しかしこれは妹に心配させないためだといふことが純子にはよく解つてゐたので、

「ですけど……兄さん、大變熱がおありのやうよ。觸つて御覽にな[illegible]いこと……」

「ううん、大丈夫だよ」

「大丈夫ぢやないわ、兎に角熱をお測りになつて頂戴……。あたし何だか心配だから……」

純子はさう言ひながら枕許の盆の上に置いてあつた體溫器を出して、無理に莊太の脇の下に挾んだ。

暫くの間二人は默つてぢつと考へ込んでゐたが、間もなく莊太は不圖思ひ出したやうに話かけた。

「あのね、純子。お前女傭になるとすると誰か世話をして呉れる傳手があるのかい」

「えゝ……」

「誰だい」

「あのね、大貫さんてんですの」

「大貫……」

莊太はびつくりしたやうに目を瞠つたが、やがて微に「さうか」と、呟くやうに言つたかと思ふと、微睡むやうに目を閉つた。」

# 支那の借款成立で 南京政府の歐米派活躍せん

## 折角好轉の日支關係憂慮さる 帝國政府嚴重監視

（東京十九日發國通）英、米始め諸外國の對支借款が傳へられるが、政府當局は支那の經濟債務は希望する所だが、諸外國が經濟援助により對支進出を企圖する嫌ひあるは看過し得ず、殊に歐米派の巨頭たる宋子文の手で一億の借款が成立せるは、今後南京政府內の歐米派が活躍すべく日支關係の逆轉も計られずと重大視してゐるが、政府としては當分積極的態度には出ず、嚴重監視する方針である

# 經濟會議休會後の帝國政府の方針

## 近く代表部に訓令を發せん

（東京十九日發國通）經濟會議帝國代表よりの報告に依れば同會議は愈々來る七月廿七日より休會の形式による事實上の閉會となり十月頃或は再會するやも計られざるも會議としての重要なる議題は殆んど解消せる狀態なるを以つて會議出席中の帝國代表部の措置に就て外務省では關係方面と打合せ協議中だつたが、今回左の如く決定し直ちに同代表部宛訓令を發した

一、經濟會議帝國代表部は七月卅日から閉鎖する

一、石井代表は來月早々ロンドンを發し九月上旬印度經由歸國迄に歐洲大陸諸國を遍歷の上我聯盟脫退後の國際情勢を視察されたし

一、深井代表はカナダに開催される太平洋會議に日本代表として出席されたしとの意向なるも未だ正式決定に至らず追つて訓令すべし、尙ほ門野顧問は

一、ロンドンに開かれる日米通商民間協議會に對する日本代表として出席され度きに就き當分滯留されたし

一、經濟會議が今秋十月再開されるもロンドン常駐の大使館員財務官其の他を出席せしめ本國より特別の委員を派遣せず

# 支那を政治的共同管理の怖れ

## 我國は自衛上對策を講ぜん

（東京廿日發國通）國際聯盟の對支協力委員會は支那援助に關する決議案を確定せるに對し我外務當局は次の如き見解を表明してゐる

聯盟が支那の經濟狀態の建直しを行ふことに就いては我國としては趣旨に於ても之より希望する所だが、然しながら今回の決議案の如きは勢ひ支那の政治的共同管理にまで進展の可能性あるものとして我國は今後の支那に於ける其の活動に深甚なる監視を拂はねばならぬと思ふ、即ち聯盟が專門委員を派遣して支那の內政一般に關與し、而も其の委員長が排日で有名な保健部長ライヒマンを任命してゐるが如きは其の意圖の那邊にあるかを略々推察せしめるものだ、隨つて若し專門委員の今後の活動にして純經濟的性質を逸脫して政治的策動に迄進展するが如きことある場合には隣接國として緊密なる利害關係を有する我國としては自衛的手段を執るの用意を有するものである

# 支那援助聯盟特別委員會 コムミユニケ

## 非政治的協力を力說

（東京廿日發國通）外務省十九日着電によれば十八日パリに於て開會された支那援助の聯盟理事會特別委員會閉會後大要左の如きコムミユニケが發表された

聯盟と支那との技術的協力に關して最近聯盟理事會により創設された委員會は本日聯盟パリ事務局で第一次正式會合を開催した聯盟の支那との技術的協力は一九三一年五月蔣介石並に宋子文より電報を以て正式に提議され、衛生全般、財政、經濟並に教育を含む各般の行政分野に於ける協力の可能性が聯盟理事會に提言された、理事會は此提議を受諾し其後聯盟の技術的諸機關の代表が支那を訪問し技術的助力に關する諸種の提案を立案した後、理事會は今年五月の會議に於て支那に對する有用にして非政治的な協力に關する特別委員會を設置し、之を統制發展せしむる事を決議、本日委員會の開會を見るに至つたもので、委員會は諸題の討議に入つたが、先づ宋子文は既に過去數年間に行はれた事實的協力によつて達成された成果を感謝し、將來益々委員會の活動が增大し協力の實を擴充すべき事を希望する旨を述べた

第一の問題は支那政府と聯盟の機關との間に連絡を維持する任に當るべき技術的代表を任命すべしとの支那政府の提案で支那政府は聯盟と連絡員の役目を果すべき專門家の任命を希望し、委員會は原則上之を認識した

第二の問題は該技術代表の正確なる役割に關するものであり委員會は技術的協力が實行されるに當つて基礎となるべき原則に關し或程度の討論を行つた後、協力の指導原則は之が全然技術的にして且非政治的であることを強調する決議を採擇した

第三の問題は人物の選定だつたが委員會は前回聯盟衛生部長ライヒマン氏の任命に同意した、氏は技術的協力に關聯し既に數回支那を訪問したることあり氏の任期は一年間とし支那全國經濟委員會に所屬することとする

# 海軍省要求費 總額六億圓に達せん

## 八月上旬大藏省に提出

（東京十九日發國通）明年度豫算に海軍省では各部局の要求費目殊に第二補充計畫案に就き數回の

「接衝」を重ねた結果意見一致し十八日に大角海相に報告したが檢討を重ねて八月上旬大藏省に提出の段取であるが其總額は六億圓に達するものと觀測される則ち基準豫算は二億七千萬圓程度であるが非常時局に對應する新規要求とし第二補充計畫年度割費要求があり、次に主力艦の近代化經費新艦船維持費がある、第二補充計畫は希望通りだが日米海軍を比較して見て本年十月現有艦齡が丁度廢棄年齡に達するもので十二月以後は我海軍が劣勢となるので全海軍を擧げ同計畫の短期間遂行を熱望して居り八五〇〇噸級巡洋艦二隻、一萬噸級砲防艦二隻、千四百噸級驅逐艦十四隻、五千噸級敷設艦一隻建艦する外條約外の潛水母艦九千噸等の建造費として約一億圓を要するから總額は五億六千萬圓位の見込である、軍令部では三年間に完成すべしと強硬主張し初年度分として一億五千萬圓位要求、大藏省と折衝の結果四年間繼續事業となつたとしても初年度分は一億圓は下らず

「此等」の外に主力艦改裝近代化、新戰艦維持等の新規要求額を加算すれば六億圓には達する見込である

# 多倫占領はソ聯援助の馮軍一萬

## 李守信軍奪還を準備す

（奉天十九日發國通）多倫を放棄し退却した李守信は多倫圍場間に集結して再起を圖りつゝあり、多倫占領の馮玉祥の軍隊は約一萬、其の背後に二、三萬の勢力あり、ロシアより爆擊機四機を供給される筈であり、國境を越えて滿洲國に侵入せんとの意圖を有するものゝ如くである、我〇〇部隊は省境警戒の區原駐地を發し、十五日圍場郭家屯に到着した

# 熱河小學教育の再興に努力

文教部最近の調査に依ると熱河省內に於る小學校、中等學校總數は七百八十五校であるが、其の中大半は湯玉麟時代に校舍を破壞されたり備品を持去られた儘なので、殆んど開校不能に陷つてゐるが、斯くては教育普及の實績に見るべきものなく又地方民は一日も早く開校されたき旨熱河省教育廳に希望して來るので、文教部では大いに力を注ぎ教育廳を督勵して速かに開校する樣に努めてゐる

# 張軍政部總長 新京に定住

（ハルビン十九日發國通）北滿特別區成立と同時に特別長官の職を辭し、軍政部總長專任となつた張景惠氏は長官後任呂榮寰氏との事務引繼ぎも完了したので愈々ハルビンを引拂つて新京に定住するに決し、二十日午前九時發列車で思出深いハルビンに別れを告げることゝなつた

# 張學良 歸國說傳はる

（天津十九日發國通）天津佛租界三十二號にある張學良公館よりの消息によれば、目下ローマにある張學良は蔣介石よりの歸國勸告に接し所部整備のため八月一日前後歸國の途に就くに決定し同公館は修理に着手したと

# 經濟會議失敗後は有條件最惠國的條約を締結

## 大藏省で目下研究中

（東京十九日發國通）大藏省事務當局は經濟會議失敗後の對策に就き研究中だが、外務省の主張する樣な報復關稅制度や商工省の主張する樣な輸出價格統制や、輸出割當制度などは姑息で重視し得ずとの見地から互惠主義による協定稅率を各國別に設け、之と同時に從來の無條件最惠國約款主義を有條件に變更するとの關稅方針を採るに至つた

此の準備として主稅局は印度、オーストリア、カナダ、南アフリカ、イギリス本土、アメリカ等と漸次互惠主義による協定稅率を採用する場合の協定稅率の程度を研究中で成案を得ば高橋藏相に提示し、政府は大藏案として各國と交涉を開始する筈である

# ユレニエフ氏 重光次官訪問

## 交涉斡旋を謝し援助を乞ふ

（東京十九日發國通）ソ聯代表ユレニエフ氏は十九日午前十一時半外務省に重光次官を訪問、北鐵問題斡旋を謝した後特に今後の援助を希望、重光次官より努力する旨答へ種々意見の交換をなし、午後零時半辭去した

# 宇佐美總局長 廿日歸來

かねて新に開通した敎圖線を巡視中であつた宇佐美奉天鐵路總局長は視察を終へ二十日午後三時十分新京着臨時列車で來京の筈である

# 松室大佐の訓諭に 歸順匪賊等感激

## 多倫の奪還を誓ふ

（奉天十九日發國通）殊勳を樹てて無事新京に赴き重大打合せを濟ませた松室大佐は去る十五日無事承德に歸着したが大佐は直ちに同地に集合せしめてあつた歸順匪賊代表等と會見し、各匪團の歸順願ひに對し軍當局は之を許可した旨を傳へ從來の態度を改め今後力を盡して滿洲國の爲働けと諭したところ各代表は喜んで忠誠を誓ひ、これが第一番目の御奉公として方振武軍の爲占領されてゐる熱河多倫を必ず奪還すべしと誓言したと

# 湯の歸順使者 陰に逆產確保に策動

## 運動奏效せず昨夜退京

湯玉麟の歸順の意を傳へに來京中であつた謝呂四、湯佐榮の兩名は昨夜密かに退京、奉天に向つたが、兩名の眞の目的は湯玉麟歸順よりも逆產を確保せんとするにあつたものと睨まれ彼等の運動は奏效しなかつた模樣である

# 北鐵西部線及吉敦線の水害

（ハルビン十九日發國通）滿洲の雨期七月に入つて各地の降雨量は俄に增加した模樣であるが、北鐵西部線では十五日午後一時ブハト附近の橋梁一ケ所流失し、同日夜吉敦線では蛟河敦化間の橋梁も四ケ所流失し、何れも直ちに修理したが、これらの小さな水害にも昨夏大水災に見舞はれた北滿の住民は神經を尖らしてゐる

# 馮の抗日運動 まるで昔の百姓一揆

## 內地轉任の長澤中佐語る

（下關十九日發國通）北平公使館附武官より甲府聯隊長に轉任の長澤中佐は十九日朝下關着、任地に向つたが馮玉祥の抗日運動に就て左の如く語る

馮玉祥の抗日運動は傳へられるが如く勢力あるものではない、言はゞ日本の百姓一揆だ、配下六萬の中、手兵として統制あるものは僅に五千人に過ぎない、大部分は其日の食に窮してソヴエートに結びついた手合ひだ 北方では日滿から、南方は國民政府から挾擊され、馮も非常に苦境に立つてゐるので將來何等かの機會に轉向するだらう

# 朝鮮殖銀 矢鍋理事辭任

予て辭表提出中の殖產銀行理事矢鍋永三郎氏は十八日附を以て辭任された（京城）

# ブラジル經濟使節一行旅行日程

（神戶十九日發國通）ブラジル經濟使節一行は一昨日奈良に到着、昨日一日を奈良の見物に費したが、今日大阪に赴き同地に三日間滯在、重要工業新聞社其他を視察し、廿三日神戶着、それより瀨戶內海の遊覽を行ひ各方面の歡迎を受けることゝなつてゐるが、神戶では九月中旬ブラジル產物の展覽會を開催する豫定である

# 石井全權の歸國請訓に 外務省許可訓電

（東京十九日發國通）石井全權は外相に左の如き歸國許可を求めて來た

月末を以つてロンドンの帝國代表部を閉鎖し門野代表を除きロンドンを引揚げ、ヨーロッパ諸國を歷訪した後九月早々マルセイユ發印度洋經由歸國し度い

これに關し外務當局は午前首腦部會議開催の結果左の通り決定、訓電を發した

一、石井全權の歐洲經由歸國を許可す、深井全權は八月カナダのバンクーバに於ける太平洋調査會議に出席を受諾されたし

一、門野顧問はロンドンに暫時殘留し、日英通商協議會開催に關し盡力せよ

一、經濟會議が再開されても特別の意味なき限り本國よりは特派せず松平大使を全權とする

# 石井全權 倫敦より放送

（東京十九日發國通）石井全權は來る二十四日午後三時よりロンドン、ラグビー放送局を通じて「經濟會議に就て」と題し、日本に放送することになつた

# 石井全權の歐洲訪問 期待される

（東京十九日發國通）石井全權の歐洲訪問は、個人の資格だが、國際聯盟の育ての親として各國政治家と親密な間柄であるので各國政府に非公式に

一、日本の聯盟脫退の已むを得なかつた事情

一、脫退後も平和主義と各國との親善關係に變りないこと

一、日本の對滿策の確固不動で滿洲擁護に使命を賭する事情

等を說明し諒解を圖り、場合によつては或種の協定締結するの意志を提示するやう外務省でも內訓を發した事實があるので石井全權の歐洲行は各方面から期待されて居る

# その日く

□ 支那の對歐洲借款に文句はいはぬが、身動きならぬに至つて泣きつかぬやう

□ 湯の歸順使、財產保全の目的も達し得ずトウ〳〵逃げ去つた、そんなことはトウから判つてゐた筈

□ 人造氷、新京の街から消える滿洲國自體がも少しこんなことに乘出してはどうか

□ 水道にしても關東廳土木課長清水技師が滿洲國以上に心配して來れる

# 人事往來

▲大阪原中學生二十名二十日午前六時四十分來京同午後零時四十分奉天へ

▲大阪浪速區中學生六十名二十日午後一時四十分來京

▲大阪工業組合中央支部團二十五名二十日午後四時三十分大連へ

▲大阪天王寺師範生八十名二十日午前九時五十分奉天へ

▲島本大佐（ハルビン憲兵隊長）十九日午後三時二十五分來京同四時三十分大連へ

▲虫明善輔氏（海軍江防艦隊）十九日午後四時三十分大連へ

▲宇佐美奉天鐵路局長二十日午後三時十分來京

▲日下內務局長十九日午後七時〇十分來京都ホテルへ

▲築紫參議十九日午後七時十分歸京

▲山崎理事（滿鐵）十九日午後十時奉天へ

▲[illegible]

# 經濟欄

## 海外經濟

▲銀塊及爲替

| 品目 | 値 |
|---|---|
| 倫敦銀塊 | 一八片一六ノ九 |
| 同 遠限 | 一八片一六ノ一二 |
| 紐育銀塊 | [illegible] |
| 孟買銀塊 | [illegible] |
| 米英爲替 | [illegible] |
| 米日爲替 | [illegible] |
| 米支爲替 | [illegible] |
| スチール株 | [illegible] |
| アナゴンダ株 | [illegible] |

▲棉花

| 品目 | 値 |
|---|---|
| ●米 現物 | [illegible] |
| 八月限 | [illegible] |
| 十月限 | [illegible] |
| 十二月限 | [illegible] |
| 一月限 | [illegible] |
| 三月限 | [illegible] |
| 五月限 | [illegible] |
| ●印 ブローチ | [illegible] |
| ベンゴール | [illegible] |
| オームラ | [illegible] |

▲上海標金

| 品目 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 寄 | [illegible] | [illegible] |
| 歩 | [illegible] | [illegible] |
| 値 | [illegible] | [illegible] |

## 各地市場

▲大連金鈔票

| 品目 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 現物 | [illegible] | [illegible] |
| 寄付 | [illegible] | [illegible] |
| 歩近 | [illegible] | [illegible] |
| 引値 | [illegible] | [illegible] |
| 高値 | [illegible] | [illegible] |
| 安値 | [illegible] | [illegible] |
| 出來高 | [illegible] | [illegible] |

▲大阪三品

| 限月 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 當限 | [illegible] | [illegible] |
| 八月限 | [illegible] | [illegible] |
| 九月限 | [illegible] | [illegible] |
| 十月限 | [illegible] | [illegible] |
| 十一月限 | [illegible] | [illegible] |
| 十二月限 | [illegible] | [illegible] |
| 先限 | [illegible] | [illegible] |

▲大阪棉花

| 限月 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 當限 | [illegible] | [illegible] |
| 先限 | [illegible] | [illegible] |

▲大阪期米

| 限月 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 當限 | [illegible] | 三二九 |

▲大阪株式

| 品目 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 大株 | [illegible] | [illegible] |
| 大新 | [illegible] | [illegible] |
| 鐘紡 | [illegible] | [illegible] |
| 同新 | [illegible] | [illegible] |

▲同短期

| 品目 | 値 | 値 |
|---|---|---|
| 大新 | [illegible] | [illegible] |
| 鐘新 | [illegible] | [illegible] |
| 東新 | [illegible] | [illegible] |

▲大連株式

| 品目 | 値 |
|---|---|
| 五品 | [illegible] |

## 新京市況

| 品目 | 値 |
|---|---|
| 大豆 現物 | [illegible] |
| 大豆 出來高 | [illegible] |
| 高粱 出來高 | 一車 |

▲錢鈔（現物）

| 品目 | 値 |
|---|---|
| 鈔票對金票 | [illegible] |
| 現大洋對金票 | [illegible] |
| 國幣對金票 | [illegible] |
| 大洋對鈔票 | [illegible] |

# 拳銃を强奪し トビロで重傷を負す
## 昨夜半鐵北小松製材所で
## これで二回襲はる

二十日午前七時ごろ市内鐵道北小松製材所構内北端にある材木置場の小屋附近で同所夜警員若林與人（四二）が拳銃を强奪された上三尺余のトビクチで顔面、肩を殴打された左右耳に裂傷を負ひ血に染つて打倒れ虫の息となつてゐるをボーイが發見し直に新京署に急報、同署から倉田司法主任河本警部補以下刑事數名現場に急行臨檢をなした結果犯人は拳銃强奪の目的で、事件發生は午前一時以後と見られ目下犯人捜査中である、被害者は滿鐵病院に收容した。右に就き倉田司法主任は語る

同家は今回で二度拳銃を强奪されてゐる犯人は内部の事情に通じてゐるものと思はれる、最近市内各所で頻々として拳銃盜難事件が發生してゐるが犯人は賣却の目的よりか犯罪の用に供するものであるためこの際所持者は携帯並に格納に一層の注意をなしてもらひたい

# 滿博を機會に
## 地方長老を以て觀光團組織
## 滿洲國協和會で計畫

協和會ではチチハル、ハルビン、吉林、奉天各地方事務局管内に於て勢力ある地方政商界の

＝長老＝を誘ひ、近く大連に開催の滿洲大博覽會觀察團を組織し各地方事務局別にこれが觀覽を行はしむると同時に關東州内に於ける文化的施設、軍備、經濟機構及び治安狀態等に就き敎化的視察を行はしめ日本文化に對する深い認識を與へると共に、一面保安に對する地方長老としての自覺さ積極的考究を促し、更に奉天新京を視察して滿洲建國後に於ける急速なる國家施設の進歩發るゝ官民の動向を直視せしめて國民的自覺を促し歸郷後に於ける地方自守の觀念を誘發せしむる目的から既に此の意義ある視察團組織に着手してゐる團員は一班廿名以上二百名以内で、日程は十一日間、八月一日から卅日迄の間に行ふ事になつてゐるが、協和會ではこれが完全なる成功を期し目下其準備並びに手配を周到に進めてゐる、尚ほこれが爲協和會中央事務局並びに各地方事務局は相當の經費豫算を以て各地に於る案内紹介及び懇談會の開催等團員の凡ゆる

＝便宜＝を企圖計畫してゐる因に右團員一人當りの經費概算は大体左の如きものとなつてゐる

奉天地方事務局管内（六十三圓）

吉林地方事務局管内（八十八圓）

ハルビン管内（九十六圓）

チ、ハル管内（九十圓）

中央事務局管内（八十四圓）

# 訪日体育使節
## 昨夜元氣に出發
## 競技後名勝地視察

來る二十四日奈良で擧行される日本女子スポーツ大會に滿洲國女子体育使節として參加する滿洲女子ピックアップチーム三十八名は、茂木代表及び久保田、趙兩監督に引率され滿洲逆の生んだ最初の遣外選手として全滿の期待を一身に集め夏晴れの十九日午後四時半丁鑑修交通部總長始め驛頭を埋む日滿官民及各學校生徒の歡送裡に日本へ向け晴れの征途に上つた、一行は二十一日大連出帆の「はいかる丸」で神戸に上陸、二十四、五兩日奈良で開かれる競技に臨み終つて東京、名古屋、京都各地に轉戰、日本女子選手と競技を行ふ筈であるが此の間富士登山、日光、琵琶湖、濱寺等各地を半ケ月に亘つて見物、その他各都市の博物館、教育施設等くまなく見學し、來月十四日午後七時五十分歸京する豫定である

尚右チームの競技種目並に役員は左の備りである

△トラック

五十米

百米

二百米

四百米

ローハードル

リレー

△フィールド

槍投

砲丸投

高跳

幅跳

ホ・ス・ジャンプ

△役員

一行代表　荒木善作

監督　久保田完三

同　趙泰福

# 新國都の取締營業區域
## 日滿で協議

十九日午後一時から新京總領事館で滿洲國民政部保安科長、首都警察廳保安科長、總領事館副領事、警察署保安主任、關東廳保安課長、新京署保安主任等が集合し國都建設地域における警察營業取締區域に關する打合せ會議を開催し種々協議の結果建設局の建築方針に從ふことに決定し午後五時散會した

# 全滿中等學校
## 競技大會開催
### 九月中旬旅順で

—走幅跳、走高跳、三段跳、砲丸投、圓盤投

【大連十九日發國通】內地に於る陸上競技界が近年著しい進歩を示してゐるに反し、滿洲競技界の向上進歩は甚だしく遜色あり、特にスポーツ界の根幹をなすべき學生競技界に此の感を深くするので滿洲學生陸上競技聯盟では現在關東州内外分立して行はれてゐる中等學校競技會を全滿的に統轄して發達向上を圖る事となり、左の通り毎年全滿中等學校陸上競技大會を開催する事となれ、十九日各學校へ參加勸誘狀を發した

期日　九月十七日（毎年九月の第三日曜日が宛つ）

場所　旅順運動場（但し毎年旅順大連奉天の三ケ所の間に變更す）

競技種目　百米、四百米、千五百米、八百米リレ

# 慶大野球部來滿

【大連十九日發國通】慶應野球部腰本監督以下二十餘名は今朝入港の「はいかる丸」で來滿した

# ア式蹴球大會延期さる

全新京ア式蹴球競技大會は二十日擧行の筈であつたが準備其他諸種の事情より本日の擧行を延期、來る二十八日滿洲國全新京チーム對日本拓大蹴球チームとの試合を擧行後改めて日時を決定開催する事となつた

指導　黒田善八（排球）

同　時萬成（排球）

同　奥村久（陸競）

主將　趙世珍（排球）

同　高金翠（陸競）

△後援滿洲体育協會

# 學徒研究團を迎へ
# 日滿青年大會
## 西公園に日滿兩國の縮圖現出

滿洲產業建設學徒研究團千二百余名の來滿を迎へる滿洲國青年は之を絶好の機會とし來る八月九日首都新京西公園に日滿交歡青年大會を開催、純眞な青年の心臟を通じて兩國の親善を緊密ならしむる事になつた、日本側の參加者は學徒研究團を始め在滿學生代表滿鐵其他產業團体青年代表等で滿洲國側からは各部各省青年官吏代表、地方商務會、農務會代表並に學生代表參加しその總人員無慮三萬、新京に時ならぬ日滿明朗の縮圖を見るの盛觀が豫想されてゐる、尚右大會準備打合せのため廿日午前九時から文教部で準備委員會が開かれる筈である

# 學生相撲と全新京軍對抗競技
## 廿五日新京神社で

日本學生相撲聯盟の一行二十二名は二十二日朝來京直ちに哈爾賓に赴き歸途新京で全新京相撲聯盟との對抗試合を全滿體育聯盟及び新京相撲俱樂部の主催、在京新聞社後援の下に二十五日午後五時から新京神社境内土俵で行ふことに決定した、一行は村上（早大）城（東京醫大）大澤（明大）顯川（拓大）藤岡（東京醫大）古郡（日大）白井（專修）入江（慶應大）木村（關西大）小川（大阪商大）保篠（大商醫）太野（名古屋商）高田（關西大）碑村（龍谷）田畑（日大）末次（法政）鈴木（同志社高商）長谷川（日本醫大）森田（中央大）龜川（大正大）加地（日本體操）井川（農大）の二十二名の外數名で全新京側としては陸軍、駐滿海軍部、警察市中側並に滿洲國日系官吏およひ大同學院等から强豪をすぐつて對抗するので盛覽し龍攘虎搏の角力が觀られる譯である、因に入場料は大人五十錢均一、軍人學生は三十錢となつてゐる、一行は二十四日午後三時二十五分着列車で哈爾賓から歸京する

# 判決
## 橘塾頭に懲役十ケ月
### 愛郷塾頭以下

【東京十九日發國通】五・一五事件の愛郷塾頭橘孝三郎以下の請願令違反事件は十九日午後三時左の如く求刑された

懲役十ケ月　橘孝三郎

同　山田忠一

同　六ケ月　上田義雄

同　一ケ年　染谷忠助

# 露人校長・阿片自殺

十九日午後八時ごろ日本橋通り八四番地新京私立第一家庭補習學校々長露人切列特尼錢高（三三）は阿片八グラムを嚥下苦悶中を家人が發見松本病院へかつぎ込み手當を施したが二十日午前六時絶命した原因は約一ケ月前同人は結婚したが家庭の不和から悶白からず自殺したものらしい

# 學徒研究團
## 二十一日北大營で結團式
## 東北大學で講習

【奉天十九日發國通】學徒研究團の來奉を控へて在奉各機關は準備に忙殺され、歡迎方法に關し、地方事務所、教育廳市政公署、協和會關係者は協議を重ねつゝあるが、二十一日午前九時一行が奉天驛を通過し、北大營に向ふ際、各團体を擧げて歡送迎するが滯在中の日を選んで引率者を大和ホテルに招待、懇談會を催すこととなつた、尚學徒研究團一行は二十一日午後一時から北大營に於て滿洲醫科大學、ハルビン學院代表者の參列の下に盛大なる結團式を行ひ、最後に東北大學に入り二十九日迄講習を受けると

# 電話に關する工事は八月中お斷り
## 電信電話會社へ引繼ぎ準備で

電信電話會社の業務は來る九月一日より開始の豫定で現有財產の調査も一段落を告げ諸般施設の引繼準備も大分進行して居り電話に關する諸工事の如きも全部完了させて引繼上に支障のない樣にする爲大体七月末日迄で打切つて請求をお斷りする事になつた、然し電話機の移轉、機械增設、機械種別變更等の極く簡單に出來る工事は八月十日迄は請求を受理するから一般加入者に於ても右事情を御了承の上必要の向は期間內に請求して貰い度いと

# ポスト機ニルフロボに不時着

【モスクワ十九日發國通】ポスト氏は天候險惡のため、ブラゴエチエンスク迄の飛行不可能となりモスクワ時間十九日午後二時三十分ニルフロボに不時着した

# イルズ孃八月二十日頃
## 東京へ飛來

【東京十九日發國通】フランス飛行家マリー、イルズ孃は八月十日頃巴里發西比利亞經

# 中國共産黨
## 黒龍江省內で赤化工作
## 近く徹底的に撲滅

從來中國共産黨滿洲特別委員會はそのテーゼとして吉林省奉天省、關東特別區の赤化工作に全力を傾倒してゐたが日滿軍警の監視嚴重な爲め手も足も出ず、これが爲め黑龍江省內の匪賊赤化に轉向した模樣だ、既に今年四月初旬には省內湯原を中心として各縣の宣傳工作が表面化し宣傳文の撒布、同志獲得に狂奔してゐるもの湯原、通河、青崗、慶城、木蘭、鳳山の各縣妥であるが、その中既に組織化されたものは湯原、通河の兩縣のみであろ、これが爲め省政府では各縣參事官に命じ、嚴重監視せしめると共に、積極的にこれが撲滅に着手することゝなつた、因に黨特委の指令下にある

# 酌婦を抱へて無許可で營業
## 新京署からお目玉

市內東一條通料亭玉川事江草光太郎は去る六月八日より七月十四日迄、三上まだ子（三〇）及辛島文子（一七）を酌婦にかかえ無許可にて營業中を新京署保安係に發見され營業取締規則違反のかどにより十九日科料十九圓に處せられた、なほ幸島文子は定年にも達して居らず營業主の無謀なる行爲に係官はあきれてゐた、因に三上は許可を願出ると共に幸島は直に廢業した

# 樺甸資源調査隊出發

樺甸方面資源調査團は昨十九日午前七時日本軍討伐隊並吉林警察大隊と同行出發午後二時上貴兒溝到着宿營し本日午前四時四嶺房に向つて前進一同の士氣頗る旺盛である

# 海防艦海鳳
## 大連に寄港

【大連十九日發國通】滿洲國政府よりの註文に依つて神戸川崎造船所で建造中であつた滿洲國海防艦海鳳（二〇〇噸）外三隻は營口への回航の途中炭水補給の爲今朝八時其の可愛らしい姿を二十八番バースに横づけした、同艦は六月十二日川崎造船所で進水艤裝を整へて營口附近警備に就くべく回航中のもので海鳳を除いた他の三隻は五十噸の小型のもので海鳳はディゼル二基速力十三ノット大砲數門を搭載して居り海賊討伐、密輸入の監視に當るもので冬期にあつては碎氷船として活躍する筈で乘組員二十五名である

# 白衣の勇士凱旋

二十日午後零時四十分新京發第十八列車で白衣の勇士二十二名は戰友七名に護られ幾多の偉勳を土產に晴れの凱旋の途に上つた、なほ同列車で公主嶺より八名、鐵嶺より十八名、奉天より三名遼陽より一名計九十二名の傷病兵は懷しの故山へ向ふことゝなつてゐる



# 憲兵隊の射擊大會

新京憲兵隊本部員並に教練中の補助憲兵の拳銃射擊大會は十九日午前八時から陸軍射擊場で擧行された成績は良好であつた

一等　十四點　龜井少尉

二等　十三點　安藤曹長

三等　十二點　菊地曹長（三發十五點滿點）

# 谷肛門病院長
## 診療に當る

肛門病界の元老東京肛門病院々長谷泉氏は皇軍將士慰問のため來滿各地慰問の上十九日來京關東軍司令部初め衛戍病院その他を慰ろに訪ふたが來京を機とし旅宿先滿洲屋旅館で當分肛門病患者の治療に當ることとなつた

# 三井呉服店
## 謝恩奉仕デー

大連三井呉服店は大連盤城町に孤々の聲を擧げてより、早や五星霜其の開店の發展ぶりも非常なもので遂東百貨店大連百貨店、新京百貨店へと進出し今又某所に支店開設の準備中とか、之の發展ぶりを祝す爲め謝恩奉仕デーと銘を打ち、新京太子堂に於て、大賣出しをすると言ふ、之の謝恩奉仕デーは斯界に一大センセーションを卷き起すことであらう

# 瓜ふたつ



長春座裏の料亭永樂の妓だきうですが、南嶺の舞妓ゝ子の實の姉さんにそつくりの妓がゐます、一郎さかいふのださうですが、小柄で、眼もさ、口もとそつくりそのまゝ、ごり見直してもまちがへさうです、ゝ子の姉さん今は幸福な家庭の主婦としてちきこころに納まつてしまゐましたが

×

南嶺で二代目小菊を名乘り、長春時代の花街に相當艶名を謳はれたものです、今の小菊は三代目です、初代の小菊は長春に瓦斯がはじめて出來た時その工事を請負つて大に儲けた何さかいふ人にうけ出されたやうでした

いゝ子に、文ちやん、君の姉さんにそつくりの人が新京にゐるの知つてる？、さ、たづねたところ、よくそんな話をきいて一度見たいものだと思つてるさ、こないだ往來で逢つた、うわさの通りほんとによく似てゐたさ答へました、ごうしてあんなに似た人があるんでせうさ不思議がつてゐます——まつたく瓜二つよさ

# ラジオ

二十一日（金）新京

奉天後　一、三〇　實況放送

建設學徒研究團結團式狀況　奉天北大營

同　後　二、三〇　滿洲產業

同　後　四、〇〇　レコード

新京後　四、三〇　資藝

相場　商業通信社

奉天後　五、〇〇　講演

夏ノ飼牛ニ就テ　協和會　張維蘭

新京後　五、三〇　ニュース

滿洲語

東京後　六、〇〇　東京中央

放送局編輯

新京後　六、二〇　語學講座

（滿洲語）講師　高宮盛逸

六、四〇　語學講座

（日本語）植松金枝

同　後　七、〇〇　ニュース

英語

同　後　七、一〇　ニュース

露西亞語

同　後　七、二〇　ニュース

朝鮮語

同　後　七、三〇　ニュース

同　後　八、〇〇　演藝

東京後　八、三〇　時事

同　後　八、三一　ニュース

東京中央放送局編輯

氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

# けふの銀相場

鈔票對金票　一〇五三三五

現大洋對金票　一〇〇三六五

國幣對金票　一〇〇三五五

國幣對鈔票　九九三五五

幕末異聞

# 愛慾火箭（あいよくひや）

作　瀧川駿
畫　村瀨洗舟

（百十九）

袋露路の家（一）

築地八丁堀の家主、源兵衛の借家へ最近引ッ越して來た、若い男女があつた。

夫婦者らしい、源兵衛も無論そのつもりで敷金を半金に負けて貸したのであつた。

主人と言ふのは二十七八歳になる。すッきりとした好男兒、連れ添ふ女房と言ふのは、それにふさはしい美女。

浪人者だと言ふ觸れ込み、だが別に內職もしない所を見ると裕福らしい。——

何藩の何職を致めた人だとも訊かずに貸した。この浪人者は家賃はかたかつた。

その主人と言ふのは病身ものらしい、ほとんど一日中伏つてゐる。それはその女房は目に餘る程親切に看病してゐた。

その家は丁度、五軒宛建ち並んだ袋露路の一番奥にあつた。

この長屋は俗に同心露路と呼ばれてゐる程、この家一所を除いて皆、二十俵二人扶持の同心者——なので御同様に暮し向きは餘り豐かでない。米の一升買を案外に氣に掛けない手輩なので、極氣樂な氣持ちで住めた。

が、長屋に附きものゝ井戸端會議が、この長屋にもあつた。その問題の井戸と言ふのは、この家の前にある共同井戸なのであつた。

その井戸端會議の議案は、この家の中で手に取るやうに聞える。

——大抵は愚にもつかない噂ばなしであるが、偶には聞き耳を欹てさせられる大捕物の話が出る。

表札には鵜飼鏡之進、文字で妻早苗と印してある。男名前にも女名前にも通じる姓名なので、洗石御藩の同心連もあやしまない。

この長屋が夕暮れの闇に呑まれやうとする頃ほひ、勝手元から聲をかけた八百屋の御用聞きと言つた風の男がゐた。

町人にしては、眼がするど過ぎる、それに濃い眉が何となく威嚴を持つたやうに思はれた。

『今晩は……』

その聲が家の中へ聞えたらしい、この家の噂の女性が勝手元の戸を開けた。

『八百屋さん——今日はまあ宜しうございます』

『ではまた……』

がたんと戸を閉めた。が言葉と身體は反對に戸を閉めた時に、その八百屋姿の男は、その女と一緒に家の中へ入つて行つた。

そこは夕暮れの露路だ、別に氣にとめるやうな連中はゐなかつた。

その男は、女に案內されて縁側へ上ると端折つてゐた着物の裾をおろした。

病氣の主人の前まで來ると、低い聲で、

『——衛門、その後は何うぢや』

と訊いた。

『はつきりしないので、近頃にない困り方ぢやよ』

主人と言ふ男は、布團をめくつて坐つた。

痩せ細つてゐるが、勤王の志士衛門與四郎に相違ない。この家の女といふのは、伊豆の深山の馬子早苗の變つた姿なのである。

八百屋姿の男と言ふのは、水戸天狗黨の副將、藤田小四郎なのであつた。

『おい衛門、拙者達の日頃の念願が成つて、同盟の主魁に武田耕雲齋を戴いて、筑波山に事を擧げる事になつたぞ……』

その男は滿足らしい笑みを口のあたりに漂はした。

『で、貴公の力も是非借りたい！　貴公——是非水戸まで出掛けて來られい』

『うん』

與四郎も何だか、身體の中で血の沸くのを覺えた。この時だつた。

七月二十一日　金曜
舊閏五月廿九日
戊子　先負　執　鬼宿

●一白の人　氣分引立ちて何事も遂げ得る感あり進行吉　丙さ亥さ寅が吉
●二黑の人　短慮焦燥は益不良に導く事となる注意の日　丁さ壬さ子が吉
●三碧の人　一時凌ぎの畵策は却て後の患を大ならしむ　未さ坤さ申が吉
●四綠の人　勇氣を殺がず盡力すれば難事さへ遂ぐべし　乙さ未さ亥が吉
●五黃の人　口數を愼しみ眞面目なれば漸次に良果を得　子さ丑さ寅が吉
●六白の人　山路に迷入りて日暮となりたる如き不安日　丙さ丁さ庚が吉
●七赤の人　物事に倦き易く實績に遠ざからんさする日　乙さ丁さ寅が吉
●八白の人　內に災潛み外に禍の襲はんさする凶惡の日　丙さ辛さ艮が吉
●九紫の人　勢に任せず進むに過ぎざれば計畵遂せらる　庚さ戌さ亥が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

# 近く公布される關稅率改正の內容
## 滿洲國政府で苦心の結果
## 一般にどう響く？

滿洲國海關輸出入稅制中改正の件は十九日參議府會議を通過今明日中に執政の裁可を仰ぎ國務總理並に財政部總長の副署あつて直ちに公布されることゝなつた、卽ち滿洲國政府は大同元年度同令第三號より從前法令を暫用されたる海關輸出入稅々則中左の稅率改正を行つたが右品目並に新稅率左の如し(單位國幣圓)

### 輸出

大同元年敎令第三號暫く從前の法令を援用するの件に依り援用せられたる海關出口稅則中左の如く改正す

品名　單位及稅率　毎　圓

礦油
パラフインワックス　無稅
ウッドパルプ　無稅
緬羊毛　無稅
鐵及同製品
(甲)條竿、栖鐵、板等(軟鋼を含む)　擔　〇、三二〇
(乙)釘　擔　〇、三二〇
(丙)銑鐵及輸鐵　一二、五%
(丁)線　擔　〇、五九
(戊)其の他(鋼を含む)　從價　七、五%
別紙に掲げざる化學藥及化合物(ベンゾール、クレオソート、ナフサリン、ピッチ等のコールタール分餾物及コールタールを含む)　從價　五%

附則
本令は公布の日の翌日より施行す

### 輸入

大同元年敎令第三號暫く從前の法令を援用するの件に依り援用せられたる海關出口稅則中左の如く改正す

品名　單位及稅率　毎　圓

莫大小製衣類(起毛したるもの)　擔　一二九、三〇
靴下
(甲)兩面共起毛せざるもの
(一)瓦斯燒又はマーセライズせざる絲にて製したるもの　擔　三九、〇〇
(二)瓦斯燒又はマーセライズしたる絲にて製したるもの　擔　八七、七五
(乙)其の他　從價　一五%
腿帶子　擔　二九、二〇
ターキッシュ、タオル　擔　二四、四〇
ブランケット及ブランケット地　擔　一六、九〇
別號に掲げざる毛織物(絹以外の他纖維を混じたるものを含む)　從價　二五%
線釘及切釘　擔　一、五〇
其の他
(甲)バーブト、ワイア　從價　五%
(乙)其の他從價　一〇%
農業用機械及同部分品　無稅
鑿岩機、截炭機、試錐機、大型坑內通風機、捲揚機械、運搬車、機械シャベル、エクスカヴェーター其の他の鑛山用機械、器具及附屬品並其の部分品　從價　五%
熔鑛爐、製鋼爐、壓延機、クラッシャー其の他の選鑛精練用機械、器具及附屬品並其の部分品　從價　五%
架線、送電及配電用材料並取付器具及裝具　從價　五%
(甲)電球、夾線板、碍子又はノッブ、シーリング、クロゼット、フューズ、ボックス、プラッグ、リセプタクル、スキッチ及配電盤　從價　七、五%
(乙)電線、ケーブル、其の他別號に掲げざる電氣材料　從價　一〇%
鮮魚
(甲)マダヒ、チダヒ、ウナギ、マギロ、イセエビ及クルマエビ　擔　四、二九
(乙)其の他　擔　二、一五
飼料　無稅
別號に掲げざる種子
(甲)棉子(棉花栽培用に供せらるるもの)　無稅
(乙)其の他　從價　一〇%
葉煙草
(甲)一擔の價格二百圓を超ゆるもの　擔　五八、五〇
(乙)一擔の價格七十圓を超え二百圓を超えざるもの　擔　一九、二五
(丙)一擔の價格七十圓を超えざるもの　擔　一二、七〇
硫黃
(甲)粗製のもの(塊又は粉)　擔　〇、四〇
(乙)其の他　從價　一〇%
ペイント(船底塗料、パテント、ドライア及油光ペイントを除く)　從價　七、五%
家庭用及洗濯用石鹼(香色斑入のものを含む)　從價　一〇%
普通印刷用紙及新聞印刷用紙(主としてメカニカル、ウッド、パルプを用ゐたるものにして艶出、サイズ又は着色したると否とを別たず)
(甲)新聞印(紙卷取のもの)　擔　一、五〇
(乙)其の他　擔　二、〇〇
別號に掲げざる席
(甲)花莚　從價　一〇%
(乙)蒲包席　從價　一〇%
(丙)藁席　從價　一〇%
(丁)疊表　從價　一〇%
(戊)其の他　從價　一〇%
別號に掲げざる席地
(甲)藁席地、巾三十六吋長四十碼のもの　從價　一〇%
(乙)其の他　從價　一〇%
麥稈、藁、パナマ、ストロー其の他類似のもの及同製品
甲麥稈、藁　從價　一〇%
乙繩索　從價　一〇%
丙帽子
(一)麥稈製及蘭製のもの　從價　二二、五%
(二)其の他　從價　三〇%
(丁)其の他の製品　從價　二〇%
陶磁器(喫煙用具を含む)　從價　一五%
水硬性セメント(ポートランド、セメントの如きもの)　擔　〇、二五
瓦(甲)屋背用のもの　從價　六、二五%
(乙)其の他　從價　二二、五%
生活力を有する動物
(甲)家畜改良のもの　無稅
(乙)其の他　從價　一〇%
別號に掲げざる建築材料　從價　五%
インデイア、ラバー、ガタパーチャ及同製品
(甲)生、故又は屑のインデイア、ラバー及生ガタパーチャ　從價　一〇%
(乙)長靴、短靴及全部又は一部護謨を用ゐたる履物
(一)地下足袋　從價　一〇%
(二)其の他　從價　一七、五%
(丙)別號に掲げざる製品(自轉車、自動車、人力車用等のタイアを含む)　從價　二〇%

附則
本令は公布の日の翌日より施行す

# 爲替其他は
## けふから正午限り
## 郵便局の窓口から

新京郵便局では例年の如く本日より八月末日迄一口の爲替、貯金、稅付小包等の取扱を正午限に短縮する

# 北鐵交涉の會議を永引かす計畫
## ソ聯のインチキペテン外交

北鐵讓渡交涉は第五次會商を重ねたが蘇聯側のペテン的外交に禍され交涉の前途全く豫斷を許さず一部には早くも悲觀論さえ起りつつあるが最近モスクワ政府からハルビン經由出先委員に對し訓電せる內容は確聞するに次の如きもので定石外れの蘇聯外交の全貌を窺知するに足るものがある

卽ち

難問題に逢着したる時は日滿側に卽答を與へず中央に請訓せよ、駈引の餘裕なく且中央に請訓する遑なき時はクヅチェツオフの携行せる別案を示して一時を糊塗し會議を引かす作戰を執るべし、如何なる事情あるも會議を決裂せしめず最後の目的に到達すべし

# 北滿農作物の第一回收穫豫想〔2〕
## 滿洲國實業部で發表

### 高粱

作柄步合　九七%

高温と多照とは本作の豐凶を支配する重要なる氣象因子なり本年度に於ける本作はこの條件より觀れば前年に比し氣象著しく高温にして降水量少く播種やゝ遲し發芽不揃なりきその後生育狀態稍好轉しつつあるも平年作の三%減を豫想せらる

一　北滿南部線地方及哈爾賓附近
發芽不揃なりしも伸長割合に良好にして非常なる旱害を受けざる限り平年作に近からん

二　北鐵東部線地方
播種やゝ遲れ五月中旬に終れり發芽、生育共に多少不良にして高地のものに缺苗を生じたるものあるも概して强壯なり今後適當の雨量を得ば恢復し得べし

三　松花江下流地方
五月中旬迄に大体に於て播種を了せり奧地の高原地帶は發芽伸長共に振はざるものあり

四　北鐵西部線地方
發芽一般に不整なりしも伸長良好なり現在の作況より推せば平年作より三%減收を豫想さる

五　齊克線地方及北滿其の他地方
發芽概ね良整なりしも伸長思はしからず

### 粟作

作柄步合　九九%

本作は高粱と同じく高温を要し發芽期に於て濕潤に失するは最も有害にして生育期間を通じ温暖にして乾燥せる氣候を好むものなり之に依つて本年の作況を觀るに發芽期より生育概して良好なれば先ず平年作を豫想さる

一　北滿南部線地方及哈爾賓附近
發芽生育の兩期を通じて過乾なりしも生育は割合に良好なれば平年作を豫想せらる

二　北鐵東部線地方
播種期發芽期を通じて過乾にして缺苗ある地方もあれど割合に苗勢强く一%の減收を豫想さる

三　松花江下流地方
五月中旬迄に各地とも播種を終へたるが奧地の高原地帶は播種直後の氣温冷涼にして水濕亦不足なりしため發芽伸長遲れたり二%減收を豫想さる

四　呼海線地方
播種期遲延し發芽不揃にして生育亦良好なりと云ひ難し二%減收を豫想さる

五　北鐵西部線地方
發芽良好ならずして缺苗を生ぜる處あるも其の生育稍良好なり平年作を豫想さる

六　齊克線地方
發芽良整なれども伸長稍遲れたる感あり一%減收を豫想さる

七　北滿其の他地方
發芽生育共に概ね良好にして平年作を豫想さる

# 經濟會議再開を期し
## 今秋大國間に重要會議開かれん

(ロンドン十九日發國通)經濟會議が何時再開されるかは現下の問題の中心となつてゐるが、會議關係方面では金融經濟上の主要問題に就き大國間に一般的諒解が成立しない以上、經濟會議の再開は不可能であると見られるに至つた因つて今年秋には會議の再開を期し大國間に極めて重要な外交的豫備會議が再び行はれるものと觀られるに至つた

# 經濟會議にパラグアイ
## 移民歡迎案提出

(ロンドン十九日發國通)經濟會議パラグアイ代表部は十九日人口過剩の諸國からの移民歡迎に關する具体案を提出した

# 聯盟の支那援助に
## 聯盟內に反對運動
## 對內改革せず外國の援助は
## 有害にして無益

(東京廿日發國通)聯盟の對支援助は別項の如く聯盟と支那を政治的經濟的に結びつけ支那を國際管理に導く前提として注目されてゐるが外務省着電に依れば聯盟の對支援助に對しては支那に於ても相當の反對運動があり右反對運動者の意見を綜合すると次の如くである

一、支那の現狀は外國の經濟的援助を受ける前に改革を要するもの多く有り對內的改革をなさずして徒に外國の援助を受けることは有害にして無益である

一、日本の單獨侵略に代ふるに國際共同管理を誘致する素因を作る虞れあり

一、本委員會の成功を期せんとせば國內整理を先決要件とする、若し此要件を無視し技術によりてのみ支那の開發を圖らんとせば徒らに主權を失ひ支那を各國の殖民地化するに至るものだ

# 町村財政監督經費
## 明年度豫算に五十萬圓計上

(東京廿日發國通)地方財政法中地方行政は從來複雜してゐた爲め府縣及び町村間に中間行政機關設置方が叫ばれてゐたが內務省では最近時局匡救事業や農村負債整理の實施で町村に特別財政を要する爲め町村財政を一層嚴重に監督することに決定し町村財政監督機關經費約五十萬圓を明年度豫算に計上するに決した、その內容は原則として專任事務官を各府縣に一名づつ置き大府縣だけは二名とし全國に約六十名の事務官をして管下の町村を巡回せしめることになつた

# 武藤司令官今夕歸京

(大連二十日發國通)滯旅中の武藤長官は二十日午前九時(ハト)で秘書官幕僚を隨へ岡村參謀副長と共に新京に歸任した

# 馮玉祥の赤化いよいよ確實
## 庫倫より武器を輸入
## 張家口は完全に赤色政治

(東京二十日發國通)十九日陸軍省に達した情報に依れば馮玉祥は共產黨には關係無しと極力主張して居るが、最近張家口方面から歸來したもの々談に依ると該地は今や赤色の天下で黨員の集る者既に數百名に上り共產黨宣傳ビラ到る處に貼付しあり、又張家口庫倫間は毎日自動車交通頻繁で同地から爆彈や小銃を輸入したる樣子であり、附近住民には馮の共產黨的政治に對し不滿の空氣が漂つてゐる、此儘ならば察哈爾の社會及經濟組織は全く破壞されるべしとの聲が擡頭、共產黨は張家口の鐵道工夫を以て赤色工人部を組織する外、女子青年黨を作り赤化工作に大童である

# 對米爲替

(東京廿日發國通)今朝の爲替は米日安の輸入り幾分軟化前場の引け對米爲替は前日に比し一ポイント方下値の二十九弗八分ノ七賣三十弗十六分ノ一買、尙期近物は三十弗の賣唱へは全く無かつた

# 廿一日より戰區接收を開始す
## 一部殘留部隊支那側に協力

(奉天二十日發國通)灤東灤西の非武裝地帶接收問題に就いては去る十六日唐山に於て日支代表間に細目打合せ完了せるため支那側ではいよいよ來る二十一日より接收を開始することになつたが灤東より引揚げつつある日本軍の一部殘留部隊は右支那側の接收に協力種々の便宜を與へる筈である

# 重要商品輸出入額

(東京廿日發國通)七月中旬重要商品輸出入額(單位千圓)

| | 品名 | 額 |
|---|---|---|
| 輸出 | 綿絲 | 一二七七 |
| | 生絲 | 一四、七七八 |
| | 綿織物 | 九、七七三 |
| | 絹織物 | 二、〇一四 |
| 輸入 | 綿花 | 二二、二二二 |

# 工事落札

十九日
▲西公園入口廣場碎石敷築造工事　高岡組　落四千六百十二圓八十四錢
二十一日入札
▲范家屯社員俱樂部增築工事
▲孟家屯外社宅四棟外部モルタル塗工事
▲孟家屯外二ヶ所共同浴場焚場增築工事

# 人事往來

▲藤原郵務司長(滿洲國交通部)二十日歸京國都ホテルへ

# 尊い骨肉の愛

## 匪賊を克服し絶望の弟を救ふ

### 監禁實に百三十日間 決死的の努力

満洲特有の執拗兇暴なる匪賊に百三十日間の長期に亘り監禁され、その間骨肉を分けた二兄の涙ぐましい不斷の決死的努力によりさしも暴戻なる匪賊を克服絶望視されてゐた弟を救ひ出しに成功したさいふ満洲ならでは見られぬ事件があつた

× ×

事件の主人公は本籍鹿兒島縣鹿兒島郡吉野村川上五二一徳満仁助氏五男同姓清氏(三〇)さ云ひ敦化に在住、木材商を營んで居たが、三月八日哈爾巴嶺附近にて木材の伐採中同地北方山地に蟠居する

「純粋」の馬賊、匪首青山の率ゐる百五十余名の襲撃を受け馬車三十台余（馬九十頭）を掠奪され翌日になり、匪首青山より歸順の斡旋をしてくれとば掠奪品は返すさ歸順斡旋方を要請して來たので同氏はさカ頭さ共に三月十日匪賊代表さ會見したさころ矢庭に捕へ

「人質」さして監禁したもので、それから二十日後執拗なる匪賊は三十萬圓の金を強要して來たが之を撥附け、その後數回に亘り種々交渉、ウスラーズ農務會長李氏の斡旋、及令兄今彦氏弟二氏の骨肉の情よりにじみ出る涙ぐましい活躍

幾回さなく生死の間を彷徨した努力にも不拘交渉は

「決裂」し、遂に生死の程も不明さなつてゐたがこの程匪首青山より又復話を持込、金二千五百圓さ引換に清氏を七月十七日取戻し兄弟は手を握り合つて狂喜した同氏は十九日新京著各方面に挨拶廻をしてゐるが今兄今彦氏を驛庶務課に訪へば満面に喜を湛へながら語る

皆様に御心配をかけ眞に申譯ありませんでした、御蔭様で

「匪賊」の手より逃れる事が出來て、こんな嬉しい事はありません殊に軍隊、憲兵隊、警察の方々から受けた御親切に對しては何んさ御禮を申上げてよいやらさ涙を浮べ更に

弟は幸ひ監禁中に非常に歡待されてゐた樣です從て体は丈夫ですそれから小松製材所主の御盡力にはたゞ感謝の外はありません

## 大連滿博の入場料

七月二十三日より八月三十一日まで大連に於て開催される大連博覽會の入場料は次の如くである

一、一般普通入場料
　晝大人　五十錢
　同小人　二十五錢
　夜大人　二十錢
　同小人　十錢
　福券附入場料
　晝　一圓
　夜　四十錢
二、軍人　大人普通入場料の半額
三、團体入場料
　（イ）學生團体　敎員引率の二十名以上の團体普通入場料の五割引
　（ロ）一般團体　二十人以上百人まで三割引　百人以上三百人未滿四割引　三百人以上五割引
　（福券附入場券は割引なし）

## 危險物取締で貯藏所を設置

### 各關係業者へ命令

關東廳に於ては去る五月鹽素酸カリウム、黄燐、金屬カリウム揮發油類、硝酸等の危險物取締規則が制定されいよいよ七月一日より施行されたが該取締規則にもさづき貯藏所設置を命ぜられた者は

日本橋通　滿洲電氣株式會社
八島通　滿鐵消費組合
蓬萊町一丁目　空閑克己
富士町三丁目　田中清三郎
三笠町三丁目　吉井壽一
高砂町二丁目　佐藤精一
日本橋通　石橋清太郎

なほ現在の貯藏所に對し本月末迄に所定の屆出命ぜられたる者は

中央通　五味武太郎
西四條通　長春倉庫
八島通　前田伊織
東一條號外地　遲延雲
同　陳敬五

## 新京醫院の看護婦が殉職

### 加藤さん腸チブスで逝く けふ醫院葬を執行

滿鐵新京醫院看護婦加藤照子さんは勤務中腸チブスに罹り入院加療中のところ十八日午後七時卅五分同僚達の手厚い

「看護」も効なく逝去した、享年二十歳、葬儀は廿一日午後三時三十分寛城子地金剛寺において醫院葬を以て執行されるはずである、故人は昭和七年四月撫順養成所を卒へるさ直ちに新京醫院に内科外來勤務さして今日に至つたが最近同院は創業以來の患者激增で眼を廻はすやうな多忙の中に勇敢に働いてゐたさころ遂に

「病を」得たもので滿鐵ではその實状に徴して殉職さ認めるここに決定、葬儀當日は地方部長その他各方面から花環、弔辞などが贈られるこさゝなつて頗り極めて盛儀を豫想されてゐる

## 烏吉密方面に

### 三百萬圓を投じて八百戸移住の計畫

【奉天二十日發國通】滿洲への移民事業は地方治安の回復さ相俟つて益々有望であり、今後種々の移民計畫が進められることは豫想に難くない、全國に約七百萬の敎徒を持つ天理敎でも豫てより約一千戸の敎徒移民を計畫し吉林省烏吉密方面に移民地を選定準備中なりしも今回都合により同計劃は一先づ頓坐の形さなつたが某所への情報に依れば右天理敎の指定移民地たる烏吉密方面は移民地さして相當有望なるため政府當局に於ては當地勸業公司の手を經て本年九月頃同地に調査研究員を派遣し實地調査を行はしめた上いよいよ來春三四月頃より福岡縣を中心さする北九州並東北地方から約八百戸の移民を募集し移住させる計畫で政府よりは相當の補助金を據出第二の佳木斯移民地さして計畫を進めて居るさ傳へられる

## 國都大新京と都市計畫（上）

### 國都建設局長 阮振鐸

國都新京の建設概要を御話致しまして皆様の御參考に供したいさ思ひます新京は引續き素晴らしい繁昌振りでありまず、驛に着く客車は何時も滿員であり、工事用諸材料は到る處堆積されて居り家さ云ふ家には人が鮨詰であり從つて一間（疊六枚）の家賃三十圓也さ言ふが普通であります、材料運搬の荷馬車、人馬の往來眞に文字通りの絡繹さして實に活氣が漲ち々て居ります昨年春新京が國都さ定められて以來人口は全く爆發的の大增加を續けまして當時城內、商埠地、滿鐵附屬地、寬城子を合せ十五萬さ言ふ人口が今や實在者二十一萬に達して居るさ稱せられて居ります試みに城內の西部外に立つて其の西南方一帶を見渡しますさ在來の茅屋は殆ご總てが豫定伊通河の東に移轉して其跡には一つの市街を形成しましたそして本年の解氷四月以來數千の苦力が道路工事や、下水道工事や公園施設に働いて居ります

滿洲國の大同自治會館、官吏集合住宅、司法部、國都建設局及文敎部等の滿洲色たつぷりの諸官廳大建築物は堂々さ竣工して一大偉觀を呈して居ります、其他日本の關東軍司令部、滿洲國官吏の個人住宅中央銀行員宿舍滿鐵の社宅等の建設は今や戰場の樣な忙がしさで建設されつゝあります國務院、外交部、首都警察廳大同學院等の大建築物も今年中に着手さるゝのであります新京驛さ其の南方約六粁の孟家屯驛さの中間に出來まする國都新京の南滿鐵路中央驛は今年の十月一日から早くも營業を開始するさ言ふ躍進振りであります

新京の現在は斯くの如く活氣横溢して居りまして誰しも驚嘆するさころであります、今後五ケ年間は毎年二千萬圓に上る官民の諸工事が繼續されることさ想定され其の殷賑も思ひやられるのであります

然らば之に對する都市計畫內容はごうでありますか簡單に御紹介申上ます今年の建築に間に合ふ樣に道路、上下水道等公共施設の終つた土地を民間に拂下ぐるさ言ふのが、國家及國民の要求であり建設局の目標でありまして私共は之に對し昨年夏以來此の計畫準備を強行軍に急いで來ましたが兎に角にも大体初期通りに進捗したこさは我ながら感激の心に充ちて居る次第であります、六月に行つた第一回の一般民間に對する土地拂下實行の結果は拂下土地に對し約二十倍の申込があつて新京將來の大繁榮を明示した次第であります、ごうか新京進出希望者は忘れずに今後の土地拂下げに參加されんこさを希望致します、本七月も其の後も順次拂下げ致します、私共は新京は極く控目に見て今後二十年前後で必ずや五十萬の人口になるさ信じて居ります、新京は國都決定當時交通經濟の中心都市さして既に人口十五萬を有した大都會であります新京さ朝鮮羅津間の鐵路も今や開通し今後新京から西北方洮安ペトナ、大賚方面にも鐵道のかゝる可能性があります鐵道は新京を中心さして近く起工されますが吉林、哈爾賓、農安、懷德、公主嶺、奉天、伊通、雙陽、さ言ふ風に四通八達に周圍の大中都市は連結されます

之丈でも交通商業の大中心地さして大なる生命を持つこさゝなるのでありますが之に國都さ言ふ大なる要素が重つて來たのであります、政治、軍治敎育、宗敎等のあらゆる機關が此の新京に累集するこさゝなります

## 關東防空の豫行演習

### 東京市郡で學校聯隊を中心に

【東京廿日發國通】八月の關東防空演習に先だち、東京市內、郡部を通じて二十日學校聯隊等を中心さして非常管制の豫行演習が行はれる、午後九時飛行機の襲來さ共に燈火管制する筈だが、市內十三個所に設けられた聽音機を設置しある監哨から「爆音聽ゆ」の報告が監視廳五階の防衛司令部に警察電話で傳へられるや司令官下川大尉は警視廳電信係を通じて「空襲」の一語に依り燈火管制の指令を下すさ直ちに全市に行き亘り愛宕山ではサイレンで一般に知らす事になつて居る、市內に於ては麴町區のみ各民家も燈火管制を行ふ筈だが、移動燈火管制（電車等）は行はない

## 愈々けふからコレラ豫防注射

### ぜひ洩れなく受けませう

いよいよ本日より二十五日迄九日間コレラ豫防注射を既報の如く實施するから一般市民は一人漏れなく受けませう

## 人の道教團が

### 三百萬元の造礦公司設立計畫 奉天に本社を設置

人の道敎團が洮南一帶のソーダを採取するため資本金三百萬元の會社を

「設立」するさいふ耳よりなニュース、過般來滿した人の道敎團總務鈴木左兵衛及同大敎正御木德正の兩氏は洮南一帶を視察の折洮南、開通、[illegible]安光、遼源、突泉、瞻楡の八縣に亘つて無盡藏に有るソーダに着眼し所有者を求めた結果奉天信濃町五番地元滿參謀長陳于天さ判明、而して現在の定國軍副司令方永昌が此採掘權及關係土地諸權利の賣却方を依頼されて居る事を聞込み、交渉の末資本金三百萬元（內方永昌より現物出資百萬元、鈴木、御木兩氏より二百萬元）を以て遼東造鹼公司を設立する事さなり、目下關係當局に許可方を出願中であるが、兩氏は敎團本部さ打合せのため

「歸國」した、尚最近人の道高等拓殖學校校長石毛英三郎氏が滿洲進出を企圖して來滿して居た事あり相當有望視されて居る

## ポスト機

### 天候恢復次第再び飛行繼續

【モスコー十九日發國通】ポスト機は天候險惡に禍され終にルフロボに不時着の已むなきに至つたが、之は惡天候の爲極端な低空飛行を續けてゐる中機体が樹木の梢に擦つて輕微な損傷を受けた爲であつた、ポスト氏は此危險に際し見事な技倆を發揮して巧みに完全な着陸を行つたが流石連日の身勢に殆んご困憊の極に達してゐる、然し之に屈せず天候の恢復次第直ちに飛行を繼續しブラゴエチエンスクに向ふ筈である

## 安東から豆油北行の奇現象を呈す

新京の發展、膨脹に伴ひ、凡ゆるものゝ消費需要が非常な勢で激增しつゝあり新京産の豆油も從來は新京の需要を充してもなほ余りあり、歐洲、內地方面へ輸出されてゐたが、最近の人口の增加により、需要頓に殖へ新京に於ける一日の生産高一萬五千斤では到底間に合はぬ状態であつたさころ最近安東より豆油百四十キロトンの移入を見た、安東より新京に豆油の來たのはこれが最初で新京の膨脹ぶりを如實に裏書してゐる、一方ハルビンに於ても河豆のハルビン到着により價格の騰貴を見てゐる豆油の生産に全力を傾注してゐる爲最近では同市の需要を充した上、ボツボツ南下歐洲方面に輸出されてゐるハルビンよりの豆油南下は北滿水害以來最初のものである

## 空中から射撃演習

### 昨日飛行隊で

新京飛行隊では二十日午前八時より正午迄新京飛行場射撃場に於て空中より輕機關銃の射撃演習を實施した

## 拓大蹴球部來滿

東京拓殖大學ア式蹴球部では滿鮮遠征を計畫來る二十七日來京、二十八日午後四時から西公園グラウンドで全新京軍さ對戰するこさゝなつた

## 下士官以下南行

下士官以下二十二名は二十一日午後十二時四十分新京發列車で南行

## 太平洋に六哩の深海を發見

### 米海軍特務船ラ號の研究測量

【サンディエゴ十九日發國通】米海軍所屬特務船ラマポ號の船長メイヨウ氏はサンペトロマニラ間の往復航海中太平洋の海底を研究してゐるが、その結果太平洋に六哩の深海を發見した、メイヨウ氏は測量の結果につき左の如く語つた

太平洋海中にはその幅が米大陸の二倍に及び世界最高のエベレスト峰よりも高い幾多の高山があり、海底の深さは六哩以上に達する所がある

## 自分のために、お互のために 當局指定以上の車馬賃を支拂ふな

### 新京署でも惡馬車夫征伐に 見付次第屆出よ

市內に於ける唯一交通機關さして一般から重寶がられてゐる滿洲特有の馬車人力車等が最近の著しい外來者の激增につけ込で當局指定以外に法外なる料金を強要し一般市民へ非常なる迷惑をかける馭者が多々あるので新京署保安係ではこれ等惡馭者の取締に血眼さなつてゐるが意の如く徹底せず非常に頭を惱ましてゐる、之は最近驕的婦女給及其他婦人達の一部が馭者が請求するが儘に料金を支拂う爲にかく增長したもので市民自身料金の單位を引上げたわけになりこの罪の一端は市民が負うべきであらう、今後は自己の爲將又一般民衆の爲に當局指定料金以外は絶對に支拂はぬ樣にし無法なる請求を受けた場合は直に最寄の派出所に屆出られたい

## 四平街だより

（四平街發）四平街を北方九滿里小紅嘴居住農曾德さ云ふ男は日頃來自家用井戸を堀鑿中偶然炭脈を發見試驗的に數箇麻袋に採取した處品質頗る良好且つ埋藏量豐富なる見込にて雀躍して喜んで居るさ

### 警備に萬全を

（四平街發）梨樹縣公署ではさきに四平街に於ける日滿警備會議の決議に基き高粱繁茂期に入るに先立ち匪賊蜂起を未然に防ぐ爲め縣警察隊をして自警團公安分局等さ協力去る七日から全縣下隈なく示威的行軍を實施無頼の徒を檢擧小匪賊の殲滅を期して行動中であるが之れが爲めに無頼の徒が同時附屬地內に潜入せんも圖られぬので萬一に[illegible]四平街署では目下[illegible]戒網を張り警備に努[illegible]

### 鐵道沿線警備[illegible]

（四平街發）四平街[illegible]梁繁茂の匪賊跳梁期[illegible]管內治安維持の完璧[illegible]く憲兵隊、守備隊、[illegible]地に於て鐵道沿線警[illegible]相圖り去る十七日[illegible]開き警備上の萬全を[illegible]引續き雙廟子十家堡[illegible]も開催す

### 天氣さ氣溫

けふの天氣、南西の風[illegible]曇り、二十日の氣溫最高二十[illegible]一度八、最低十九度[illegible]

# 阿城縣工作 並遭難事情（二）

協和會 廣吉辰雄

縣長等之を離ず縣長曰く駐屯兵は常に暴狀極まりなく平康里を犯され營業は立ちゆかず普通商家にありても物品購買の相當代價も拂はず爲に市民嫌惡の的となり縣當局及一般市民は之を遇するに腫物扱として殆んど困じ果て居れりと愚痴を以て申告す

之に依つて之を見る時に於て或は駐屯兵士の散步の傍を之を敢てせしものにあらざるなきかと思惟せしむ前者の暴言と相俟つて之を想像するに難からず而し徹頭徹尾之を固執するものにもあらず一方他に考察を變へるの必要あると言ふは排日派の根源地とも稱する阿城の事にてもあり又共產黨若くは便衣隊の潛入もあるべし强ち駐屯兵とは限らず之等の暴漢等に依つて行はれ居る事は爭はれぬ事實也と察知することを得べし

以上の事實は倶に阿城駐在滿洲國軍事教官たる陸軍步兵大尉味岡義一氏を第八旅司令部に訪問して工作上に於ける難關たる事實談を以てす、氏は答へて曰く、幹部會議に於ても工作上には好く承知し居れば本旅中の將卒には斯かる不法行爲を敢てするものはなかるべし若し之を發見したる場合は司令官より若干の賞を渡すと宣言し居る位に好感を持し居れりと又氏は縣長及公安局長等を呼び寄せて之を悟すと意氣込み居られたり

縣當局の談と第八旅幹部の考へと暴言兵士と實在とを靜かに考察し之を綜合する各我田引水的の言辭多くして俄かに斷言する事能はざるは事理自ら明白なるものあるべし

五月二十九日午後十一時四十分頃[illegible]事務の整理を了へ（當日は哈爾賓より歸來縣當局と座談會的晩餐會をなしたる爲遲くなる）私信を認める中突如門外一二發銃の發砲せられたるを聞く直に班員三名の眠りを醒まさしめ更に警護兵に告げて雜然たる机上の整理をなし三名の部下班員に覺悟すべきを命ず、間もなく大聲疾呼しつつ發砲亂射の響を聞く而して亂舞し一大修羅場と化さんとする光景、吾等班員は身に寸鐵を帶びずして奈何共施す術なく徒らに考ふるのみ、幾分豫期したる事乍ら斯く暴虐無道の大集團的行動なるを知らんや

予は三名の班員に四散して此の場を脫出可成速に本部に通告し援兵を乞ふべしと命じ、各々自由行動を執らしめ別れ別れとなる

其時既に遲し吾等の宿營所たる東大永隆公司は荒れ狂ふ兇猛なる兵匪に包圍され幾ゞ這ひ出る間隙もなく而も刻々迫る大集團は幾許なるを知らず誠に慄然たるの場面を現出す

班員宮輔臣は予を救ふべく豫て此事ありと覺えたるせいか公司構內南端道路に面して雜然と積み重ねたる薪割木の中間にボイラーカバーとも思はる鐵管の古びたる半圓徑の横はり居るを見付て之の周圍にある薪を以て覆ひとなし外部より容易に發見する能はざる樣適當の巢を造りありたるに導かれ相擁して二人此處に難を免かる道路に近く（約一間半）の距離にあるを以て兇暴兵の行動其他手に取る如く聞ゆ

彼等の絕叫する聲は火磨に向へと命令的に押寄せ來る氣合を知る笛の音につれ喇叭の響一統制の下に居所進退を決するの作戰的？爭鬪の聲と相和して起る機關銃、小銃又は拳銃或は手榴彈の炸裂する音四方八方縱橫無盡に飛び去り飛び來る彈丸の唸を生じて頭上を掠むる凄然たる有樣は騷然たる響と混じて何時終局を告ぐるや想像も及ばず刻々に爭鬪は激甚となり戰は深刻になる何者と何者の戰ならんか天暗くして確かならず唯老若男女の逃げ迷ふ叫び聲と掠奪品を積み込運搬する如き騒の音或は多數の馬匹をもつれて行く如き物音銃丸の響と混同してもの凄い激戰は午前一時より午前三時迄の間甚敷殆んど八方塞り[illegible]と思はるに似て而も悲慘の極

明くれば五月三十日東天紅を告げ旭日登るも銃聲は尚未だ止まず午前四時頃漸く全員集結？の喇叭鳴り響く漸次銃聲は遠くなり行くかと思はれしが馳せ遲れの兵匪等？が各自隨所に出沒掠奪を恣まにして居るものが午前十時過ぎ迄銃聲は遠近に聞ゆ

午前九時四十五分我三飛機翼を連ねて阿城上空に現はれ旋回飛行に依つて其の偵察なることを知る

班員宮輔臣は工場構內に廣吉と大書したる旗を地上に廣げ標識となし一は吾人班員の所在を明かにし一は工場內爆彈投下の難を避けしめんとの念願に依れりと何ぞ用意周到なる予をして泣かしむ

旋回飛行の三機は五分の後東南に向つて機影を沒し約四十分の後再び飛來す昨夜の出來事は既に我當局は能く之を知得せられたるを思ふて自然飛行機に對し敬意を表し又戀々禁ずる能はざるものあり飛爲に點々として膝下に落ち飛行機を拜して打伏す、感無量に陷り早急善後處置をなすべき援兵の來阿を祈願すること久し暫て三機の北上するを見て心待つこと久しくして爆擊機上空に現はれ投下せられたる爆彈の炸裂する音一發又一發予は三十發前後迄は能く之を算すれども敵兵の發射する砲彈の響と相錯綜して之を算するに由なし

是等彈丸の炸裂する音を聞きつつ避難所を工場地下室の一偶に移りて難を避け徐に感考す移るに當りて宮輔臣と工場支配人盧氏の好意に依れる深謝するに其の辭を知らず此の時時計は止りて時間の正確を期し難けれど大凡午後一時頃と思はる工場の役員、工人等病者に紛れ脫出に當りては頭髮を苅り滿衣を着け勞働者風に化け徒步力行本部に赴くべしと其の意氣壯也と言ふべし

## 貴重な先手を 極度に利用した（六十六）

黑頭巾評

### 圍碁新手合（四局の十五）

三段 石塚行誠
七子 田中定吉

黑にこれ迄、隨分、齒痒いと思はれる程、隱忍自重して來たのである。

爲めに、緩い手はちよいくあつたが、大した失策といふものは殆ど無かつた。

澤山置いた碁が、大過なしに打つて行ければ、大概は勝てるものである。

この碁も、確かに黑が良い、この儘で行けば、たとへ細かくとも、黑に殘るやうに思はれる。

而も、黑へ先手が廻まれてゐるに於てをやである。

で、黑は、その貴重な先手を極度に甘く活用し始めた。

**天晴れな武者振り**

黑『□五十四』と白『□五十三』の一子を拔いた。

白は手を拔く譯には行かぬ。

『□五十五』と約へた。

すると、今度は黑『□五十六』と打つて、白を切斷しようといふ狙ひである。

白は『□五十七』と粘いで、それを防がねばならぬ。

それから、黑『□五十八』と白『□二十三』の石を抱き附けた。

これも亦、白が拋つて置く譯には行かぬから、止むを得ず『□五十九』と約へた。

續いて、黑は『□六十』と當て白『□六十一』と粘いだ時に黑は『□六十二』と當て、白に『□六十三』と粘がして、黑『□六十四』と粘いだのである。

こうなると、白の大石には眼形が無くなつて來る。

で、白は『□六十五』と尖んで、大石を右邊の味方へ連絡さした。

序に、黑は『□六十六』と覗き、白『□六十七』と綽ね込み黑『□六十八』白『□六十九』黑『□七十』白『□七十一』ととなつて、黑、鍵みなく、殆ど息つく暇も與へずに先着の効力を發揮したものである。

これは、如何にも天晴れな武者振りであつた。

**注意すべき手順**

今度は、上邊の白へ向けての活用である。

即ち黑『□七十二』と白『□[illegible]』の一子を拵へ込んで、又して、白の大石を狙ひ出した。

で、白は止むなく『□七十三』と沃いで黑『□七十四』の時に『□七十五』と下りて、生きを打つた。

だが、黑『□七十二』の切り取りよりも、單に、『□七十三』と約へる方が幾分良かつたやうである。

すると白は（い）と打つて生きてゐなければならぬ。

そうして置いて後で『□七十三』と切り取る手順になるかも知れぬ。

とは言ふものゝ、白が（い）と打つて生きてからでは、黑が『□七十二』と切り取るのは後手であるから、それを先手で、取り込んで四目の得をして置くのと、黑が、單に『□七十三』と約へて、白（い）と生かして『□七十二』の粘ぎを狙はれるのとでは、極微か、一二目程の相違ではあらうが微細な局面では、それが又重大な結果を招來するのであるから、注意すべき手順である。

| 手 | 位置 |
|---|---|
| [illegible] | ル ノ 十二 |
| [illegible] | ル ノ 十三 |
| [illegible] | チ ノ 十二 |
| [illegible] | ル ノ 十四 |
| [illegible] | ソ ノ 十二 |
| [illegible] | ソ ノ 十三 |
| [illegible] | レ ノ 十一 |
| [illegible] | レ ノ 十三 |
| [illegible] | カ ノ 十一 |
| [illegible] | ソ ノ 十二 |
| [illegible] | チ ノ 十一 |
| [illegible] | チ ノ 十一 |
| [illegible] | リ ノ 十三 |
| [illegible] | チ ノ 十三 |
| [illegible] | チ ノ 十四 |
| [illegible] | チ ノ 十二 |
| [illegible] | リ ノ 十四 |
| [illegible] | ヌ ノ 十三 |
| [illegible] | ル ノ 四 |
| [illegible] | チ ノ 二 |
| [illegible] | ヌ ノ 二 |
| [illegible] | ヌ ノ 一 |

## 投書欄

### 入京所感

建國以來異常なる緊張と不退轉の信念を以て新亞細亞結成の第一步歐米文化政治に對する再批判より、止むに止まれぬ日洋精神のルネッサンスを形成すべく、王道政治を標榜して建てられたる滿洲國のその國都へ來たエトランゼは何より驚いた事は日本料理、藝者、四疊半と云ふ日本趣味の氾濫である新興滿洲へ迄きて、そしてその建國の基礎が一つに五族協和にかゝつてゐる事を自覺したら、他四民族と何等共通點をも有せざる四疊半趣味に低徊し排他的自己民族本位主義的享樂機關を意識的に簇生せしめる此の日本的島國根性こそ極めて尊傲的態度であり、非協和的である、日本的には日本精神を稱するものとして四疊半式趣味を言ふものではないに一体新造家屋にしても總てが疊一點張りである、此の日本人宅へ、訪問した滿系人の坐つた姿を想像すると極めて窮屈な又二度と訪問したくない氣まづさを先づ與へないではおくまい

かゝる日本人根性は必然滿洲語を話さぬブルジョア趣味の人間に多い樣だ、一部日本人が日本語を滿系に數へれば敵へて我々が滿洲語を習ふ必要なしと言つてゐる、一体支那で識字運動が朝鮮の識者をかりたてゝ猛運動してゐるのは何が爲か四億の民の中に姓名をかく程度に文字を解するもの一千五百萬弱、支那人に支那語を敎へるのに民國改元後二十有年必死な運動にも不拘如斯し、まして比較的おくれてゐる滿洲に於いて最も難解たる日本語を敎ゆる事に依つて日本人の不便を脫せんとするが如き、日本では中學で英語を專一的に勉强してゐても中學卒業生は勿論、大學卒業生すら一般會話が出來ないではないか支那で初等敎育二年もの學歷を有する者は既に智識階級の一部に入れられてゐる日本に於ける中等學校卒業者の如き基礎學あるものとしても語學收得がかゝる難事であるかより考へて見ると、政策の如何に限らず兎に角滿系を日本語化しやうなどもつての外である、滿系に滿洲語を敎ゆる事が第一急務なのだ

それから驚いた事は疊を背負つて來た日人がダンスホールへ出入する事の如何に激しいか建國早々極めて緊張してゐると思つて入京した自分は新京の頹廢的一面を見せつけられて、支那國都南京を追想する

此處では中央飯店を中心に何應か國民黨や、政府のダラ幹共や洋人に依而ダンスホール開設を試み樣とした然し乍ら異常に緊張してゐる南京政府國民黨中堅幹部共は諾として承知せず三年前の八月中央飯店でダンスホールを開いた時猛然排擊運動を起し開場僅か三日で市政府は之れを閉鎖せざるを得なかつた此の樣な運動は各地に傳はりしも、租界に集を食ふ外國人の爲めにとうもその成績は擧げられなかつたが南京だけは聖地國都として保たれた何れにしても國都南京の緊張は實に敬服してよい官公吏が私用でお茶屋等へ公用自動車で乘り込もうものならば國民黨青年達學生運動は丹念に之を追走し調査し之れを詰同したものだ

之れに引きかへ兩都新京への入京早々の感想は意外にその刺戟的享樂的風景の多いのに驚いた

別段王道政治建設途上に日本語の强制論や疊文化建設論やダンスホール建設論が必要でもあるまい

日本人は島國根性や優越觀念をすて、眞に五族協和の歷史的役割の重大なるを確信し、滿人と相互往來の機を深め、家屋も改造し大いに椅子樣式を入れ、輕薄なダンス等せずも少しは支那南京國都建設の跡も考へて見るがよい

皇軍や協和會や吳參事官達が遠地にあつて大奮鬪してゐる事を考へ心氣を緊張せしめよ且つ、母の日本を見よ、日本の大衆は御身等の奮鬪を確信するが故に、あれだけの不便の窮境の中に未曾有の豫算を背負つてゐるのだ（付田生）

## 海の外から

□電氣貨車の格安振り
愛蘭土では電氣貨車が鐵道を走り出した、客車よりは延も一噸安で、八十哩浮に付き一哩一錢半 格安振りを示して大好評である

□獨乙の教會ボート
一ケ年百度以上家には歸らず、一ケ年百度以上海で働く艀業者の爲の獨乙では彼等の子供達の爲め教會ボートを造つて水の子に水上から宗教を吹き込む新趣向を考へ出した

□湖床から硫黃の發掘
米國ルイジアナ州に在るルイジアナ湖床に澤山の硫黃があるので、蒸氣と空氣の兩仕掛けで一日三百噸乃至四百噸を發掘して湖床の黃金化に努めてゐる

□貨物自動車の雪中變裝
米國自動車協會では冬季雪中を運行する貨物自動車が動もすれば車輪に雪が附着して危險を感ずるに鑑み車輪が道路に觸れる所だけ强靭なゴムを被らせることとした

□警官隊の無音自動車
米國警官隊乘用自動車には無音裝置を施して惡漢逮捕の一助としてゐるが、最近效果的の例證や統計が續出して來るので當局大喜び

□雲を呼び霧を生む裝置
米國ロスアンゼルスの某氏は旱天續きの際、雲を呼び、煙霧を起さす器機を發明した、是は百五十呎位の塔を造り、上部に發電場を設けて電子の作用に依つて空中の濕氣を集めるのだ



### 鮮魚小賣相場

| 品名 | 値 | 品名 | 値 |
|---|---|---|---|
| 活鯛 | 一二〇 | 小鯛 | 四三 |
| カフオ | 一二一 | ニベ | 一三 |
| ヒラス | 一二〇 | サハラ | 二六 |
| スゞキ | 一七 | アジ | 一二 |
| サバ | 八 | コチ | 八 |
| コノシロ | 六 | マナカツ | 一五 |
| タチ | 一〇 | トビ | 一六 |
| アコウ | 五〇 | ハゼ | 一二 |
| グチ | 八 | カナカシラ | 六 |
| フカ切 | 一〇 | 赤エイ切 | 一〇 |
| タコ | 三五 | イセエビ | 六〇 |
| 車エビ | 六五 | カニ | 八 |
| ハモ | 一七 | アナゴ | 二六 |
| 白魚 | 二六 | アワビ | 七九 |
| ハマグリ | 一二 | 舌 | 二六 |
| 小市 | 八 | ヤズ | 二〇 |
| ウナギ | 一二〇 | | |

# 蠻幻黨船往來

林間献上映及上演

（作）寺島柾史
（畫）布施長春

## 第百十回　死人の室（一）

船底――いや、船そことといふよりも、こゝは深い谷そこといつた感じだ。へさきの最端をへ形に仕切つた眞暗な船そこである。

その船そこの肋骨の間のじめじめした感觸によびさまされて、ふとわれに返つて格之進は、ふしぎさうに四邊を見廻した。

見廻したが、もとより眞暗闇の船ていである。眼に觸れる何物もない。

――はてな！

格之進は小首を傾けた。この船そこへ放り込まれるまでのいきさつをおもひめぐらしてみた。

すると、現實は、彼に幽天の移牖を訴へた。

――はゝア……。

はじめて一切が判明した。

格之進は、聲もあげ得ず立すくんだ。彼の背後にも死體があつたのだ。

――おゝ、こゝは、まさしく死人の室だ。

おれは、あの典膳のために、こんな死の谷そこへ突き落されたのだ。

それを思ふと、妙になまぐさいやうな凄氣をいつぱいに感じた。

やがて、その疑問が、彼の胸中に湧いた。

――誰の死體だらうか。モリエールの外に、誰が一體誰をころしたのか……。

――はてな、典膳め、お愛までも手にかけたのだな。

彼は、さう思つてみた。すると背後に横はる死がいが、眞暗な中にお愛のしどけない姿となつて幻想された。

――おのれ、典膳奴！

無性に腹立だしくなつた彼は、よろめきながら立上つた。

が、すぐにろく骨の根につまづいて、それへ四ッ這になつた。

――おのれ！

起き上らうとしたとき、ふと、そのろく骨の片根で、妙に、濕氣味わるい、やんわりしたものに膝頭が觸れた。

――おや！

片手をそつと伸して、それを探ると、あきらかに人間の肌だ。

――死體だ。

のばした手を引ッ込めたが、半ば好奇心も手傳つて、怖れにふるへる手をふたゝびのばした。

と、こんどは、投げ出された手に觸れた。

――おゝ、モリエールの死體だ

さうおもふと、ぞつとおち毛が立つた。

彼は、おのれの殺したモリエールの死體に直面してゐることを恐れて、四ッ這ひのまゝあとしざりした。

すると、彼の足うらが、また何物かにひつ觸れた。

――……

――お愛だ。

てつきり、お愛にちがひないとおもひこんでしまふと、彼は、急に明るい、妙に清淨な氣持になつた。

――お愛は、このおれのために死んでくれたのだ。……さうだ。おれは、お愛の死がいを抱いて、このまゝ、この船ていで、しんでゆかう。それこそ、おれの、多年の念願だつた。愛慾情痴に狂奔し最後にやつと、おれは、お愛をだくことが出來たのだ。おれこそ、戀の勝利者だ！

格之進は、いまは、死人の室のおそれなぞ、けろりと忘れてしまつて、うれしげに、お愛の死がいに近寄つた。

――お愛！お、おまへは、よくぞ死んでくれた。おれをたすけるために、おまへは、どんなに典膳とたゝかつてくれたらう。お愛、おれは感謝するぞ……。

格之進は、お愛の死がいに手をのべて、強くだき寄せようとした途端！彼は、ぎよつとして身をひいた。

死がいは、しがいにちがひないが、それはお愛の豊滿な肉體ではなく、やせた中年男の骨ばつた身體だつた。いやしかも、そのしがいはまだ生々しかつた。